

ネットワーク解説書の作り方

— 著者と出版社の攻防—

出版社の視点編

鹿野 桂一郎
ラムダノート株式会社
k16.shikano@lambdanote.com

2020年1月24日
於 JANOG 45

誰？

- ▶ **鹿野桂一郎**
 - ▶ Twitter : @golden_lucky
 - ▶ GitHub : k16shikano@github
 - ▶ Blog : <https://golden-lucky.hatenablog.com/>
- ▶ **版元の編集者として**
 - ▶ ネットワークとプログラミングの本を主に企画制作
 - ▶ オーム社に約 15 年 (マスタリング TCP/IP とか)
<http://note.golden-lucky.net/2015/09/blog-post.html>
 - ▶ 2015 年から出版社「ラムダノート」を立ち上げ
<https://lambdanote.com>
- ▶ **雇われの編集者として、執筆や制作を請けることも**

話すことと話さないこと

- ▶ 話すこと：
「編集者と本を作るときに役に立つかもしれないこと」
- ▶ 話さないこと：
「いい本を書くときの心得」
 - ▶ 昔、それっぽいことを書きました
「技術書、それも売れるやつを書きたい人へ、編集者からのアドバイス」
<https://web.archive.org/web/20170916075801/https://tsuchinoko.dmm1labs.com/?p=2303>

編集者の4象限

	制作する	制作しない
企画する		
企画しない		

(「編集・校正」はみんながする)

英語圏ではそれぞれに名前がついている

- ▶ **Aquisition Editor**
- ▶ **Development Editor**
- ▶ **Copyediting Editor**
- ▶ **Designer, Typesetter**
- ▶ **(Indexer, Advertising Editor, ...)**

執筆者にとっての「編集者対策」

as

編集者の「悩み」へのカウンター

編集者にはどんな悩みがあるか

1. 企画するネタ

- ▶ 書籍が求められている分野は？
- ▶ 売れそうな書籍は？

2. 著者がいない

- ▶ 本を書きたい著者はどこにいる？
- ▶ 売れそうな著者は？

3. 進捗がまずい

- ▶ 著者の進捗
- ▶ 編集制作の進捗

編集者にはどんな悩みがあるか

1. 企画するネタ

- ▶ 書籍が求められている分野は？
- ▶ 売れそうな書籍は？

2. 著者がいない

- ▶ 本を書きたい著者はどこにいる？
- ▶ 売れそうな著者は？

3. 進捗がまずい

- ▶ 著者の進捗
- ▶ 編集制作の進捗

「企画するネタ」に困っている編集者への対抗策

1. 既刊書が多い分野の企画をぶつける
2. 翻訳書の企画をぶつける
3. バズっている分野、資格試験の企画をぶつける
4. 改訂、続編、シリーズの一冊として企画をぶつける
5. 著者と編集者のマッチングから企画をぶつける

1. 既刊書が多い分野の企画をぶつける

▶ pros.

- ▶ 本として成立するネタであることの説明が不要
- ▶ 既刊書のアラや不評を探すことで構成を立てられる
- ▶ 関係者に趣旨を説明しやすい

▶ cons.

- ▶ 後発であることの実売面での不利
- ▶ 執筆のモチベーション維持

2. 翻訳書の企画をぶつける

▶ pros.

- ▶ そもそも完成した書籍がある
- ▶ 原著の評判から売れ行きを予測しやすい

▶ cons.

- ▶ 権利者が多い（原著者、原書出版社、エージェントなどなど）
- ▶ そのぶんだけコストがかかる
- ▶ 意外と書下ろしより重労働

3. バズっている分野、資格試験の企画をぶつける

- ▶ **pros.**

- ▶ 潜在的な読者の多さ

- ▶ **cons.**

- ▶ すぐレッドオーシャン化する可能性
- ▶ すぐ陳腐化する可能性
- ▶ 求められる執筆速度

4. 改訂、続編、シリーズの一冊として企画をぶつける

▶ pros.

- ▶ 既刊の認知度や資産を再利用できる
- ▶ 既刊への好影響もある

▶ cons.

- ▶ 続編や改訂はオリジナルより売れにくい、という経験則

5. 著者と編集者のマッチングから企画をぶつける

▶ pros.

- ▶ 著者の得手不得手をよく知っている編集者
- ▶ 編集者の趣向をよく知っている著者

▶ cons.

- ▶ 著者の実績と編集者の実績がないと企画も実現も困難
- ▶ なあなあ（悪い意味で）をどう避けるか

実際には…

- ▶ 編集者が自分で企画をいろいろ考えることのほうが（たぶん）多い
- ▶ そのとき、また別の種類の悩みが…

編集者にはどんな悩みがあるか

1. 企画するネタ

- ▶ 書籍が求められている分野は？
- ▶ 売れそうな書籍は？

2. 著者がいない

- ▶ 本を書きたい著者はどこにいる？
- ▶ 売れそうな著者は？

3. 進捗がまずい

- ▶ 著者の進捗
- ▶ 編集制作の進捗

編集者が「著者を探す」ときの方法

1. メールや DM で突撃
 2. 技術イベントなどに行く
 3. 紹介してもらおう (2 ホップ先くらい)
- ▶ いずれの場合も、興味がない話を振られたら即断りましょう

1. メールやDMで突撃されたら

- ▶ 編集者は SNS やブログでの情報発信が多い人に、ダイレクトにアクションすることがある
- ▶ アクションは、具体的な話のことでもあれば、雑な執筆依頼のこともある（編集者しだい）
- ▶ 具体的な話で誠実そうなら、反応してもらえそうらしい
- ▶ 無視される、断られる、などの覚悟はある

2. 技術イベントなどで編集者にあったら

- ▶ いまがまさにそのとき
- ▶ 著者候補を探ることが目的で参加する場合もあれば、技術情報に触れることが目的で参加する場合もある
- ▶ 本を書きたい場合には、気軽に捉まえて話しかけると、参加の目的がどちらであっても喜びます
- ▶ 本を書きたくない場合でも、技術情報に触れることが目的の編集者なら、技術の話をお聴きたがります

3. 知り合いから編集者を紹介されたら

- ▶ 具体的な執筆の相談込みでの紹介か、ただの顔合わせか
- ▶ 気がのらない話なら遠慮なくスルーで
- ▶ すでに他の出版社で何か書いている、というエクスキューズは不要です

編集者にはどんな悩みがあるか

1. 企画するネタ

- ▶ 書籍が求められている分野は？
- ▶ 売れそうな書籍は？

2. 著者がいない

- ▶ 本を書きたい著者はどこにいる？
- ▶ 売れそうな著者は？

3. 進捗がまずい

- ▶ 著者の進捗
- ▶ 編集制作の進捗

「進捗」に困っている編集者への対抗策

1. 原稿を書く
2. 組版される前にやれることをすべてやる
3. 編集者が何をしているか知る

1. 原稿を書く

- ▶ **編集者は原稿がないと何もできません**
- ▶ **逆に、原稿があると原稿以上の本を作れます**
 - ▶ **コンテンツの質が上がる、わけではなく、質が変わる**
- ▶ **催促をすべきかどうか、数週間は悩む（個人差があります）**

2. 組版される前にやれることをすべてやる

- ▶ 「とりあえず組版する」の罨
- ▶ 組版されたゲラに赤字をたくさん入れる必要がないように原稿を整理するのが編集者のもっとも重要な仕事のひとつ
- ▶ 組版されたゲラに赤字をたくさん入れて直す、という工程には、省力化の方法がない
 - ▶ 版管理と自動組版を前提としている出版社は例外

3. 編集者が何をしているか知る

▶ 原稿の整理

- ▶ 著者と読者のインピーダンスをそろえる作業
(型検査と型推論に似ているかも)
- ▶ 文章としての局所最適解を探す作業
(コンパイラの最適化に似ているかも)
- ▶ 頭から読めるようにする作業 (リンカーに似ているかも)

▶ 組版 (のための指示)

▶ 装丁デザイン (のための指示)

▶ 販売までのお膳立て (の指示)

▶ 宣伝 (の指示)

おまけ：お金の話（口頭のみ）

- ▶ **そもそも本を作るのにいくらかかるのか**
 - ▶ 実際には出版社ごと、本の種類ごとにまちまち
- ▶ **原価率でいうと…**
- ▶ **定価販売ならではの価格決定の仕組み**
- ▶ **印税の謎**

- ▶ ネットワーク図はどうやって描けばいいの？
- ▶ 編集者は著者の SNS を監視しているの？
- ▶ 著者と編集者の生のバトルを見せろ
- ▶ 出版なんてもうオワコンだろ？
 - ▶ ブログや同人誌？
 - ▶ セミナー、勉強会、YouTube？
 - ▶ SECCON、NETCON とか？

バトル例（プロフェッショナルIPv6）

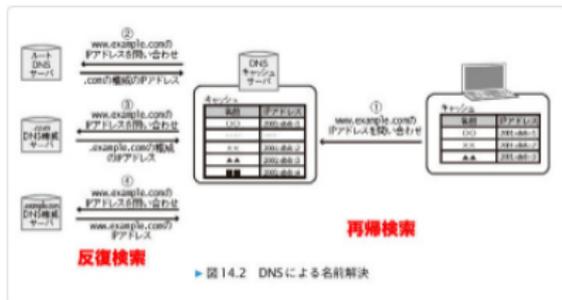
February 20th, 2020



akimichi 1:15 PM

図の修正をお願いします。

再帰検索と反復検索 ▾



ユーザとキャッシュサーバの間に再帰検索、キャッシュサーバと権威サーバの間に再帰検索です。再帰検索の場合にはRDフラグが1、そうでない場合にはRDフラグが0になります。

[@k16.shikano](#)



k16.shikano 1:17 PM

それぞれの文字を入れるだけでよいでしょうか (edited)



akimichi 1:18 PM

はい。あと、範囲を示す矢印もあとと嬉しいです。



k16.shikano 1:18 PM

矢印は使わないほうがよさそう。



akimichi 1:19 PM

矢印というか、範囲を示す横棒ですね。

バトル例（プロフェッショナルIPv6）



k16.shikano 1:19 PM

ところで、いまautoconfig.htmlの追加のシーケンス図で困っているのですが

まず、DADをしてリンクローカルアドレスが確定したあとでNAを送出すると読める資料が見当たらないので、この部分を例に含めるのは微妙な気がしてきました

そもそも近隣探索といったときに、ホストのリンクローカルアドレスが決まるまでの部分を含めるべきなのかどうかという気も



akimichi 1:25 PM

その部分って実装依存だと思うのです。

なので、あくまで「例」と表現しています。



k16.shikano 1:25 PM

はい



akimichi 1:26 PM

そもそも、DADをしない場合もありますし。

リンクローカルアドレスが決まらないと、次にいけないので、それに関しては含むべきだと思います。



k16.shikano 1:26 PM

実装依存という話は本文からも読み取れるのですが、そこでこう描いてしまうのが微妙な気がします。



akimichi 1:28 PM

ただ、RFC的にはどこにも明示されていないので、どこかでは何かの例を出すべきだとは思いますが。



k16.shikano 1:28 PM

RSとRAを使ったプリフィックスの設定という部分と、NSとNAを使ったDADという部分で、図を分けたほうがいいのかも